

FUJITSU Notebook LIFEBOOK

LIFEBOOK A744/M

LIFEBOOK A744/MW

LIFEBOOK A574/M

LIFEBOOK A574/MX

LIFEBOOK A574/MW

BIOS セットアップメニュー一覧

インテル、IntelおよびIntel SpeedStepは、アメリカ合衆国およびその他の国における
Intel Corporationまたはその子会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
情報 (→P.3)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。
システム (→P.3)	日時や言語、ドライブの機能などを設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.6)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
起動 (→P.7)	本パソコンの起動時の動作について設定します。
終了 (→P.7)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- ▶ BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ▶ ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
- ・ 次の表は、ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目です。

メニュー	設定項目	
システム	システム時刻	
	システム日付	
	言語 (Language)	
詳細	ディスプレイ設定	ディスプレイ
	その他の内蔵デバイス設定	内蔵HDD動作設定
	USB3.0	
	CPU設定	マルチコア
		SpeedStep(R) テクノロジー
	各種設定	電源ボタン
セキュリティ		LANによるウェイクアップ
		自動Save To Disk
		音量設定
		ハードウェア省電力機能
		アイドル状態におけるCPU省電力 (AC)
		アイドル状態におけるCPU省電力 (バッテリ)
		光ドライブ省電力モード
		インテル(R) ラピッドスタート テクノロジー
	Intel(R) Management Engine設定	Intel(R) ME セットアップ
		Intel(R) AMT Fast Call for Help
終了	SOLコンソールタイプ	
	イベントログ設定	イベントログの表示
	ユーザー用パスワード設定	
	ハードディスクセキュリティ	ドライブn : ユーザーパスワード設定

情報メニュー

BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。設定を変更することはできません。

設定項目	備考
型名	
カスタムメイド番号	
製造番号	
BIOS版数	
CPUタイプ	
全メモリ容量	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット1	1MB=1024 ² バイト換算
メモリスロット2	1MB=1024 ² バイト換算
MACアドレス	
UUID	
パネルID	

システムメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
システム時刻 00:00:00~23:59:59	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
システム日付 01/01/1980~12/31/2099	【Tab】キー／【Enter】キー……右の項目に移動 【Shift】+【Tab】キー……左の項目に移動
ドライブ構成	
ドライブ2 □使用しない ■使用する	
ドライブ4 □使用しない ■使用する	
言語 (Language) □English (US) ■日本語 (JP)	

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
起動設定	
高速起動 □使用しない □使用する	Windows 10／Windows 8.1の場合「使用する」、 Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。
互換性サポートモジュール □使用しない □使用する	・ Windows 10／Windows 8.1の場合「使用しない」、 Windows 7の場合「使用する」に設定されています。 ・ 「セキュアブート機能」が「使用しない」時のみ設定可能 ・ 「セキュアブート機能」が「使用する」に設定されている場合、本設定は「使用しない」に固定され変更できません。
起動時の自己診断画面 ■使用しない □使用する	
ネットワークサーバーからの起動 □使用しない ■使用する	
ネットワーク起動の優先 プロトコル ■IPv4 □IPv6	「互換性サポートモジュール」が「使用しない」かつ 「ネットワークサーバーからの起動」が「使用する」時 のみ表示
キーボード/マウス設定	
起動時のNumlock設定 □オン ■オフ □オン (Fnキー)	標準キーボード搭載機種のみ表示
起動時のNumlock設定 ■オン □オフ	テンキー付キーボード搭載機種の場合
ディスプレイ設定	
ディスプレイ □液晶ディスプレイ □外部アナログ ■自動	・ OS起動後はOSの設定に従う ・ 「互換性サポートモジュール」が「使用しない」時のみ表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
その他の内蔵デバイス設定	
シリアルATAコントローラー □使用しない ■使用する	
SATAコントローラモード設定 □IDE ■AHCI	「シリアルATAコントローラ」が「使用する」時のみ選択可能
内蔵HDD動作設定 ■自動 □固定	「シリアルATAコントローラ」が「使用する」時のみ選択可能
Bluetooth(R) □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵LANデバイス □使用しない ■使用する	
無線LANデバイス □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
指紋センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
内蔵カメラ □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
SDスロット □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
スマートカード □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
手のひら静脈センサー □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示
USB3.0 □使用しない □使用する □自動 ■互換モード	
近接通信デバイス □使用しない ■使用する	搭載機種のみ表示

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
CPU設定	
マルチコア ■使用する □使用しない	対応CPU搭載機種のみ表示
HTテクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載機種のみ表示
SpeedStep(R) テクノロジー □使用しない ■使用する	対応CPU搭載機種のみ表示
Virtualization Technology □使用しない ■使用する	対応CPU搭載機種のみ表示
Intel(R) VT-d ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・対応CPU搭載機種のみ表示 ・「Virtualization Technology」が「使用する」時のみ設定変更可能
Intel(R) TXT ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・対応CPU搭載機種のみ表示 ・「Virtualization Technology」および「Intel(R) VT-d」が「使用する」、「現在のTPMの状態」が「有効かつ使用可」の場合のみ設定変更可能
USB設定	
レガシーUSBサポート □使用しない ■使用する	「使用しない」時はFDDユニット(USB)からの起動不可
SCSIサブクラスサポート □使用しない ■使用する	<ul style="list-style-type: none"> ・「レガシーUSBサポート」が「使用する」時のみ設定変更可能 <p>※注1</p>
USBポート □使用しない ■使用する	
各種設定	
電源ボタン ■使用しない □電源オフ	ACPI対応OSでは無効
LANによるウェイクアップ ■使用しない □使用する	<ul style="list-style-type: none"> 「使用する」設定時は、消費電力が増加するためACアダプタ使用推奨 <p>※注2</p>
バッテリ運用時 □使用しない ■使用する	「LANによるウェイクアップ」が「使用する」時のみ設定変更可能
強制LANブート ■使用しない □使用する	「LANによるウェイクアップ」が「使用する」時のみ設定変更可能

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
LANによるレジューム □AC接続時のみ ■常に有効	
Wireless LANによるレジューム □スリープのみ ■スリープ・休止状態	
自動Save To Disk □オフ ■オン	
音量設定 □オフ □小 ■中 □大	
ハードウェア省電力機能 □使用しない ■使用する	<p>アイドル状態におけるCPU省電力(AC) ■省エネルギー □低電力 □標準</p> <p>アイドル状態におけるCPU省電力(バッテリ) ■長時間稼動 □低電力 □標準</p>
光ドライブ省電力モード ■使用しない □使用する	
インテル(R) ラピッドスタートテクノロジー □使用しない ■使用する	
Intel(R) Management Engine設定	対応CPU搭載機種のみ表示
Intel(R) MEセットアップ >Enter	再起動後にME設定メニューに入ります。
Intel(R) AMT Fast Call for Help >Enter	<ul style="list-style-type: none"> ・再起動後に確認メッセージ表示 ・管理サーバーが設定されていない場合は使用禁止
Intel(R) ME設定のクリア >Enter	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
SOLコンソールタイプ □PC-ANSI □VT-100+ ■VT-UTF8	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ領域の状態	
イベントログ内容の状態	
イベントログの表示 >Enter	
イベントログ □保存しない ■保存する	
イベントログの消去 >Enter	
イベントログのマーク >Enter	現在までのイベントログを既読に設定し、以降表示されないようにする

注1：接続されているデバイスによっては、「使用する」に設定すると本パソコンが起動しなくなる場合があります。その場合は、デバイスを取り外して再起動してください。

注2：Windows 10／Windows 8.1の場合、Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。
詳しくは、『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「Wakeup on LANを有効にする」をご覧ください。

セキュリティメニュー

選択肢 初期値

設定項目	備考
管理者用パスワード	設定状況を表示
ユーザー用パスワード	設定状況を表示
管理者用パスワード設定 > Enter	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> 「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザー用パスワード文字数 0~32	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
起動時のパスワード <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 最初のみ <input type="checkbox"/> 毎回	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
自動ウェイクアップ時 <input checked="" type="checkbox"/> 使用しない <input type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> LAN／タイマー等による自動ウェイクアップ時のパスワード要求有無を設定。 「起動時のパスワード」が「最初のみ」または「毎回」時に設定可能
取外し可能なディスクからの起動 <input checked="" type="checkbox"/> 常に可能 <input type="checkbox"/> 管理者のみ	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
BIOSフラッシュメモリへの書き込み <input type="checkbox"/> 禁止 <input checked="" type="checkbox"/> 可能	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
起動メニュー <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> 「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 【F12】キーによる起動メニュー呼び出しの設定
ハードディスクセキュリティ	
ドライブ4	設定状況を表示
マスターパスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> 「管理者用パスワード」、およびハードディスクの「ユーザーパスワード」設定時のみ設定可能 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
ユーザーパスワード設定 > Enter	<ul style="list-style-type: none"> 「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「BIOSのパスワード機能を使う」をご覧ください。
起動時のパスワード入力 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	設定にかかわらず再起動時は要求なし

選択肢 初期値

設定項目	備考
所有者情報	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能
所有者情報 > Enter	
文字色 <input checked="" type="checkbox"/> グレー <input type="checkbox"/> 他	全16色から選択可
背景色 <input checked="" type="checkbox"/> 黒 <input type="checkbox"/> 他	全16色から選択可
TPM（セキュリティチップ）設定	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 セキュリティチップ搭載機種のみ設定可能
セキュリティチップ <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	設定変更は再起動後に有効
現在のTPM状態	
TPM状態の変更 <input checked="" type="checkbox"/> 変更しない <input type="checkbox"/> 有効かつ使用可 <input type="checkbox"/> 無効かつ使用不可	設定変更は再起動後に有効
セキュリティチップのクリア > Enter	<ul style="list-style-type: none"> クリアは再起動後に実行 「現在のTPM状態」が「無効かつ使用不可」の場合には選択不可
セキュアブート設定	「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 セキュリティチップ搭載機種のみ設定可能
セキュアブート	設定状況を表示 ※注1 ※注2
署名情報の保護	設定状況を表示
署名情報の状態	設定状況を表示
セキュアブート機能 <input type="checkbox"/> 使用しない <input checked="" type="checkbox"/> 使用する	<ul style="list-style-type: none"> Windows 10／Windows 8.1の場合「使用する」、Windows 7の場合「使用しない」に設定されています。 「管理者用パスワード」設定時のみ設定可能 本設定を「使用する」に設定すると、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、選択できなくなります。
署名情報のカスタマイズ	「管理者パスワード」設定時のみ設定可能
署名情報の初期化	「管理者パスワード」設定時のみ設定可能

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）およびWindows 8.1（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」、「セキュアブートに失敗しました。**アクセス拒否**」などのメッセージが表示されます。

また、起動メニューから起動デバイスを選択した場合に、「選択したデバイスから起動できませんでした」と表示されたり、起動メニューが再表示される現象が発生します。

注2 Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 10を起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

Windows 8.1のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windows 8.1を起動します。
- 2 【Shift】+【C】キーを押すか、チャームを表示します。
- 3 「検索」をクリックし、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

起動メニュー

設定項目	備考
起動デバイスの優先順位	
Windows Boot Manager ^{注1} Floppy Disk Drive Drive4 HDD CD/DVD Drive NETWORK USB HDD USB CD/DVD	『製品ガイド』の「5章 BIOS」の「起動デバイスを変更する」をご覧ください。

注：OSの構成により表示されない場合があります。

終了メニュー

設定項目	備考
変更を保存して終了する	
変更を保存せずに終了する	※注1
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語設定 ・システム時刻 ・システム日付 ・互換性サポートモジュール ^{注2} ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・所有者情報 ・セキュアブート設定
変更前の値を読み込む	
変更を保存する	
変更を保存して電源を切る	

注1：確認画面で「はい」を選択すると、変更が保存されてしまいます。「いいえ」を選択してください。

注2：「セキュアブート機能」が「使用する」の場合には、「互換性サポートモジュール」設定が自動的に「使用しない」に固定され、「標準設定値を読み込む」は対象外となります。